

[特集]

人材マネジメントの新潮流

6月に発表された1～3月のGDPは、前期比-14.2%と戦後最大の落ち込みとなった。4四半期連続のマイナス成長を記録し、昨年の米国発金融危機の影響は未だ日本経済に暗い影を落としている。こうした厳しい経営環境下、企業は持てる経営資源を有効に活用し、過去にとらわれることなく変革を続け、競争力・成長力を高めることがますます求められている。

経営資源の中で、企業の根幹を成す「ヒト」の重要性について多くの企業で認識され、人事評価制度や雇用形態の見直しなど様々な取り組みが行われ、「ヒト」を最大限に活かすマネジメントの必要性が高まっている。しかし、実際に「ヒト」を十分に活かすことはできているのだろうか？課題はないのだろうか？今回の特集では、このような認識のもと「人材マネジメントにおけるライン・マネジャーの役割、人事部の役割」、「コーチ型マネージャーが組織を伸ばす」、「社員評価とキャリア形成」という3本の論文を取り上げた。

C O N T E N T S

- 人材マネジメントにおけるライン・マネジャーの役割、人事部の役割
金井 壽宏……………4
- コーチ型マネージャーが組織を伸ばす
吉田 典生……………8
- 社員評価とキャリア形成
足立 明……………12